

PMP®試験のコンテンツ・アウトライン

2015年6月版 完成版

当アウトラインは、PMI から 6 月末に発表されたファイナル版の簡約です。正確を期するよう努めていますが、誤訳、用語等の表記で標準外の訳し方等が混ざっている可能性があります。疑問や不明点がある場合、必ず原本で確認を取って利用するようにして下さい。

原本：<http://www.pmi.org/~media/PDF/Certifications/pmp-certification-exam-outline.ashx>

CCR 関連全体：<http://www.pmi.org/certification/ccr-updates-pra.aspx>

2015年7月初旬

PMI 日本支部事務局

イントロダクション (抜粋)

PMI は、プロジェクトマネジメント・プロフェッショナル (PMP®) なるプロジェクト・マネジャーのためのプロフェッショナル資格を提供しています。PMI のプロフェッショナル資格認定試験の開発プロセスは、他のプロジェクトマネジメント認証審査開発プラクティスから独立しています。PMI は、教育業界や心理業界のテスト標準の認定で参照される業界のベストプラクティスと認定プロセスを整合させています。PMP®資格は、ISO17024 標準¹⁾の認定を受けています。

このプロセスは、RDS (Role Delineation Study) の下、各人の知識やタスクに基づいたガイドラインを使用して能力を評価し、プロジェクト・マネジャーとして業界から要求される役割をこなすための、スキル、タスク、知識に関し、その能力の程度、限界、頻度への対応レベルを決定します。

RDS に基づくことで、PM プロフェッショナルとして必要な実務条件の全要素について試験を提供し、結果を測定・検証することが可能になります。

上記は、あくまで抜粋かつ意識です、正確には →

<http://www.pmi.org/~media/PDF/Certifications/pmp-certification-exam-outline.ashx>
を参照してください。

1) American Education Research Association, National Council on Measurement in Education, American Psychological Association との共同発行。PMP 認定資格は、ISO/IEC 17024 標準に対する American National Standards Institutes (ANSI) にも認定されています。

PMP®試験のコンテンツ・アウトライン

2015年6月版 完成版

出題領域の割合

ドメイン	出題割合 (%)
I. 立上げ	13
II. 計画	24
III. 実行	31
IV. 監視コントロール	25
V. 終結	7
全体	100

PMP®試験のコンテンツ・アウトライン

2015年6月版 完成版

- ここでは、RDSによって定義されたドメイン、タスク、知識、スキルに関して記述する
- ドメインは、PMP 認定に必要なタスクを含んでいるだけでなく、このタスクを実施するための知識とスキルが含まれており、複数のドメインやタスク群で必要な横断的な知識やスキルもある。

- I. プロジェクトの立上げ
- II. プロジェクトの計画
- III. プロジェクトの実行
- IV. プロジェクトの監視コントロール
- V. プロジェクトのクローズ

PMP®試験のコンテンツ・アウトライン

2015年6月版 完成版

ドメイン I	立上げ - 13%
タスク 1.	与えられた仮定および/または制約内で、新しい製品やサービスの実現可能性を評価するために、入手可能な情報に基づいて、プロジェクトの評価、過去のプロジェクトから学んだ教訓、およびステークホルダーとのミーティングを行います。
タスク 2.	顧客の期待を管理し、プロジェクト目標を達成へ導くために、ビジネス要件に基づいて、主要な成果を特定します。
タスク 3.	期待に沿えるようプロジェクトのサポートを得るために、適切なツールやテクニックを使用して、ステークホルダーの分析を実行します。
タスク 4.	実施ストラテジーを提案するために、高レベルのリスク、仮定の識別や現在の環境、組織的要因、過去のデータや専門家の判断に基づいて制約を識別します。
タスク 5.	プロジェクト・ステークホルダーの合意を確認するために、プロジェクト憲章の作成作業に参加して、収集した情報を整理し分析します。
タスク 6.	正式なプロジェクト・マネジャーの任命、プロジェクトへのコミットメントと許可を得るために、スポンサーからプロジェクト憲章の承認を得ます。
タスク 7.	組織戦略と期待されるビジネス価値に対し、プロジェクトの整合が取れているかを検証するために、ステークホルダーと効果の分析を行います。
タスク 8.	主たる成果物、マイルストーン、および役割と責任分担についての共通認識を確実なものとするために、承認されたプロジェクト憲章をステークホルダーに通知します。
	知識とスキル： ²⁾ <ul style="list-style-type: none">• 分析スキル• ベネフィット分析技法• プロジェクト憲章の要素• 見積りツールと技法• 戦略マネジメント

2) 特定のドメイン特有の知識やスキルに加え、複数ドメインで必要な横断的知識やスキルが含まれる。横断的知識、スキルについては「横断的知識、スキル」の章にリストしている。

PMP®試験のコンテンツ・アウトライン

2015年6月版 完成版

ドメイン II	計画 - 24%
タスク 1.	詳細にプロジェクトの成果を定義するために、プロジェクト憲章や教訓を参照し、また要件収集技法を用いて、ステークホルダーと詳細要件、制約、および仮定を検討・評価します。
タスク 2.	プロジェクトの範囲を定義、維持、管理するため、承認されたプロジェクト・範囲に基づき、範囲・マネジメント技法を使用して範囲・マネジメント計画を作成します。
タスク 3.	プロジェクト・コストを管理するために、プロジェクトの範囲、スケジュール、リソース、承認されたプロジェクト憲章などを基に、見積技法を使用し、コスト・マネジメント計画を作成します。
タスク 4.	プロジェクトのタイムリーな完了をマネジメントするために、承認されたプロジェクト成果物とマイルストーン、範囲、およびリソース・マネジメント計画に基づいて、プロジェクトのスケジュールを作成します。
タスク 5.	プロジェクトの組織構造化と、どのようにリソース割り当をし、管理するかについての指針を提供するため、プロジェクト・チーム・メンバーの役割と責任を定義して、人的リソース・マネジメント計画を作成します。
タスク 6.	プロジェクトに関する情報の流れを定義し管理するために、プロジェクト組織構造やステークホルダーからの要件に基づいて、コミュニケーション・マネジメント計画を作成します。
タスク 7.	必要なプロジェクトのリソースを確実に利用可能にするために、プロジェクト・範囲、予算、スケジュールに基づいて、調達マネジメント計画を作成します。
タスク 8.	欠陥の発生防止と、品質コストをコントロールするために、プロジェクト・範囲、リスクおよび要件に基づいて、プロジェクトと所産の品質マネジメント計画を作成し品質基準を定義します。
タスク 9.	変更を追跡し、管理していくために、いかに変更に対処し、コントロールするかを定義して、変更マネジメント計画を作成します。
タスク 10.	プロジェクトのライフサイクル全体での不確実性と機会に対応するために、プロジェクト・リスクを識別、分析、優先順位付けし、更にリスク対応戦略を定義することによって、リスク・マネジメント計画を作成してリスク・マネジメントとして備えます。
タスク 11.	プロジェクトの承認を得て実行するために、決められた手続きに従って、ステークホルダーにプロジェクトマネジメント計画書を提示（説明）します。
タスク 12.	ステークホルダーを巻き込んでプロジェクト実行開始のコミットメントを得るためには、プロジェクトの開始、主要なマイルストーン、その他の関連情報を伝えるキックオフ・ミーティングを行います。
タスク 13.	効果的にステークホルダーの期待を管理し、プロジェクトの意思決定に参加してもらうため、ステークホルダーの期待、興味、潜在的な影響を分析して、ステークホルダー・マネジメント計画を作成します。

PMP®試験のコンテンツ・アウトライン

2015年6月版 完成版

知識とスキル：³⁾

- 変更マネジメント計画
- プロジェクト予算化ツールと技法を含むコスト・マネジメント計画
- コミュニケーション計画
- 契約形態と選定クライテリア
- 人的資源計画
- 効率化原則
- 調達計画
- 品質マネジメント計画
- 要求収集技法（計画セッション、ブレインストーミング、フォーカス・グループ等）
- 規制、環境影響アセスメント計画
- リスクマネジメント計画
- スコープ分解（WBS, スコープ・バックログ）ツールと技法
- スコープ・マネジメント計画
- ステークホルダー・マネジメント計画
- スケジューリング・ツールや技法を含むタイム・マネジメント計画
- ワークフロー・ダイアグラム技法

³⁾ 特定のドメイン特有の知識やスキルに加え、複数ドメインで必要な横断的知識やスキルが含まれる。横断的知識、スキルについては「横断的知識、スキル」の章にリストしている。

PMP®試験のコンテンツ・アウトライン

2015年6月版 完成版

ドメイン III	実行 - 31%
タスク 1.	プロジェクト要件を満たすために、人的資源マネジメント計画及び調達マネジメント計画に従い、プロジェクトのリソースを取得・管理します。
タスク 2.	プロジェクト成果達成のために、プロジェクトマネジメント計画に基づいて、プロジェクトチームを組成しリードすることにより、タスクの実行を管理します。
タスク 3.	要求された品質基準に従って実行するために、適切なツールおよび技法を使用して、品質マネジメント計画を作成します。
	プロジェクトの要件を満たすために、変更マネジメント計画に従って、承認された変更や是正措置を実施します。
タスク 5.	リスクの影響を最小化しプロジェクトの機会特典を利用するために、リスク・マネジメント計画に従って承認されたアクションを実施します。
タスク 6.	継続してステークホルダーを巻き込み、周知してもらうために、コミュニケーション・マネジメント計画に従って、情報の流れを管理します。
タスク 7.	ステークホルダーとの良い関係を維持するために、ステークホルダー・マネジメント計画に従って、ステークホルダーとの関係を維持します。
	知識とスキル： ⁴⁾ <ul style="list-style-type: none"> • 継続的改善プロセス • 契約マネジメント技法 • コミュニケーション計画 • 作業指示の内容 • プロジェクト要素間の相互依存関係 • プロジェクト予算化ツールと技法 • 品質標準化ツール • ベンダー・マネジメント・ツール

4) 特定のドメイン特有の知識やスキルに加え、複数ドメインで必要な横断的知識やスキルが含まれる。横断的知識、スキルについては「横断的知識、スキル」の章にリストしている。

PMP®試験のコンテンツ・アウトライン

2015年6月版 完成版

ドメイン IV	監視・コントロール - 25%
タスク 1.	差異を識別し定量化して是正対応を取るために、適切なツールと技法を使用して、プロジェクト・パフォーマンスを測定します。
タスク 2.	プロジェクトのゴールをビジネス要件に整合させるために、変更マネジメント計画に従って、プロジェクトへの変更を管理します。
タスク 3.	プロジェクトの要件とビジネス要件が満たされるために、適切なツールや技法を使用して、品質マネジメント計画で確立された品質基準に成果物が準拠しているかプロジェクトを検証します。
タスク 4.	プロジェクトのリスクと機会の影響を管理するために、顕在化したかを決定し、対応戦略の有効性を評価することによって、リスクを監視し評価します。
タスク 5.	プロジェクトへの影響を最小限にするために、問題のログを確認し、必要に応じて更新し、適切なツールや技法を使用して、是正措置を決定します。
タスク 6.	継続的な改善を可能にするために、教訓管理技法を使って、教訓を把握、分析し、管理します。
タスク 7.	プロジェクトの目的への適合性を検証するために、調達計画に従って調達活動を監視します。
	知識とスキル： ⁵⁾ <ul style="list-style-type: none">• 成果測定およびトラッキング技法（EVM, CPM, PERT, 傾向分析）• プロセス分析技法（リーン、カンバン、シックスシグマ）• プロジェクト・コントロール限界（スレッシュホールド、トレランス）• プロジェクト・ファイナンスの原則• プロジェクト監視ツールと技法• プロジェクト品質ベストプラクティスと標準（ISO, BS, CMMI, IEEE）• 品質測定ツール（統計サンプリング、コントロール・チャート、フロー・チャート、インスペクション、アセスメント）• リスク識別と分析技法• リスク応答技法• 品質検証と評価技法

5) 特定のドメイン特有の知識やスキルに加え、複数ドメインで必要な横断的知識やスキルが含まれる。横断的知識、スキルについては「横断的知識、スキル」の章にリストしている。

PMP®試験のコンテンツ・アウトライン

2015年6月版 完成版

ドメイン V	終結 - 7%
タスク 1.	プロジェクトのスコープと成果が達成されたことを確認するために、ステークホルダーからプロジェクト成果の最終承認を取得します。
タスク 2.	プロジェクトの終結を進めるために、プロジェクト計画に基づいて割り当てられたステークホルダーへ成果物の所有権を移します。
タスク 3.	正式なプロジェクトの終結を伝え、責任の所在の移転を確実にするために、一般に受け入れられている慣行とポリシーを使用して、金融、法律、および管理上の終結を行います。
タスク 4.	文書化してプロジェクトのパフォーマンスをまとめ、プロジェクトの評価を支援するために、コミュニケーション・マネジメント計画に基づいて、プロジェクトの最終報告書を準備し共有します。
タスク 5.	組織の知識ベースを更新するために、プロジェクト全体を通じて記録されていた教訓を集め、総合的なプロジェクトの振り返りを行います。
タスク 6.	法的要求や将来におけるプロジェクトの潜在的な使用や監査のために、一般的に受け入れられているプラクティスを使用してプロジェクトのドキュメントや資料を保管します。
タスク 7.	満足度を評価するために、適切なツールや技法とステークホルダー・マネジメント計画に基づいて、ステークホルダーからフィードバックを得ます。
	知識とスキル： ⁶⁾ <ul style="list-style-type: none">• 実践到達と法令順守• 順法（法令/組織）• 契約終了要件• 終結手続き• フィードバック技法• 成果達成測定技法（KPIと重要成功要因）• プロジェクト・レビュー技法• 移行計画技法

6) 特定のドメイン特有の知識やスキルに加え、複数ドメインで必要な横断的知識やスキルが含まれる。横断的知識、スキルについては「横断的知識、スキル」の章にリストしている。

PMP®試験のコンテンツ・アウトライン

2015年6月版 完成版

全ドメイン	横断的知識とスキル
	<ul style="list-style-type: none">• アクティブ・リスニング• 適用される法令• ベネフィットの実現• ブレーンストーミング技法• ビジネス感覚• 変更マネジメント技法• コーチング、メンタリング、トレーニングやモチベーション向上技法• コミュニケーション・チャンネル、ツール、技法、方式• コンフィギュレーション・マネジメント• 紛争の解決• 顧客満足度• データ収集技法• 意思決定• 委任技法• 多様性と文化的感受性• 感情的知性• 専門家判断技法• ファシリテーション• 世代感度と多様性• 情報マネジメントツール、技法とスキル• 対人能力• 知識マネジメント• リーダーシップ・ツール、技法とスキル• 教訓マネジメント技法• 会議マネジメント技法• 交渉力、影響力技法とスキル• 組織的な運用意識• ピア・レビュー手順• プレゼンテーション・ツールと技法• 優先付タイム・マネジメント• 問題解決ツールと技法• プロジェクト財務原理• 品質保証とコントロール技法• リレーションシップ・マネジメント• リスク評価技法

PMP®試験のコンテンツ・アウトライン

2015年6月版 完成版

- | | |
|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none">・状況認識・ステークホルダー・マネジメント技法・チーム・ビルディング技法・仮想／遠隔チーム・マネジメント |
|--|---|

付録 A: Role Delineation Study (RDS) プロセス

責任の定義

認定試験の作成は、まず作成メンバー資格者としての責任を定義する。試験内容を作成するメンバーになる前に、実務者としてプロジェクトを実践し、リードしていることが必要である。試験の妥当性は、プロフェッションとして必要な全ての関連領域から出題されること、またドメイン（パフォーマンス・エリア）は最重要、重要、通常のカテゴリーの設問から構成されていることが確保されている必要がある。プロジェクトをリードする個人々の役割定義には通常 2 つのフェーズがあり、一つは責任範囲の定義、もう一つは定義された責任がグローバル視点で検証されているかである。

2014 年初頭、PMI はグローバル視点でのロール・デリネーション・スタディー (RDS) を PMP 資格に採用することにした。RDS 手順は、PMI の認定協議会を代表するステアリング・コミッティーにより作成されている。ステアリング・コミッティーが監督する権限を有するとともに、RDS 採用の代表者である。複数のプロジェクト・マネジャーで構成されたプロジェクト・タスク・フォースがステアリング・コミッティーの監督下でプロジェクトに関する作業を取りまとめている。タスク・フォースのメンバーには、地理的な広がり（どの国で活動しているか）、業界、仕事での地位・役割と経験を代表している者を採用している。プロジェクト・マネジャーにはタスク・フォースによる成果を独立してレビューする役割があり、多数のプロジェクト・マネジャーへのサンプリング取得のサーベイを実施する前に、まずパイロット的に関連情報の確認をもらっている。

プロフェッショナル・エデュケーション・サービス (ProExam) の方針に従い作業を進めるスタディー参加者は全員、ドメイン (Performance Domain) やカテゴリー、役割を定義する職務と責任のカテゴリーについて理解し、はたまた、それらのタスクを実践するのに必要な知識／スキル／能力について満たしている。

パネリストによる検証

検討者パネルにより作成されたコンテンツ・アウトラインの妥当性を評価するために、PMI は無作為に選ばれた世界中の数千人のプロジェクトマネジメント実務者にサーベイし確度の高いフィードバックを得ている。彼ら／彼女らは 96 カ国で活動中、かつ種々の主要な業界に携わっているプロジェクトマネジメント実務者である。PMI ではこの結果が、統計的にタスク選定頻度や実践能力確認度をカバーできていると認識している。実務者自身もプロジェクト・マネ

PMP®試験のコンテンツ・アウトライン

2015年6月版 完成版

ジャーとしてプロジェクトに従事する際にコンテンツ・アウトラインの内容がいかに不可欠な知識、スキルになっているかを評価している。

テスト計画の開発

試験問題作成に当たっては、回答者の正誤結果（正解率）を見ながら、各々のドメインやタスクからいくつずつ設問を用意すべきか併せて考慮する。これらのドメインやタスクは、回答者からのサーベイ結果により最重要、重要、普通と分けられた設問から成っている。この調査・検討結果として合否判定対象の175個の設問が、以下の表のように各ドメインに割り当ててある。また、プリテスト設問として25個の設問が今後の試験問題作成の参考とするために、各ドメインに割り当てられているが、これは当該試験での合否判定対象ではない。プリテスト設問は、試験問題の改善のためPMIがモニターし今後の試験問題作成に役立てるためのものである（次回以降の試験問題改善に使用）。

ドメイン	設問設定%
1. 立上げ	13%
2. 計画	24%
3. 実行	31%
4. 監視コントロール	25%
5. 終結	7%
合否対象の設問数	175
プリテスト設問数	25
合計設問数	200

以上